

ユンドンジュ 詩人尹東柱とともに・2015



立教大学時代の尹東柱

序詩 尹東柱
死ぬ日まで空を仰ぎ
一点の恥辱はじなきことを、
葉あいにそよぐ風にも
わたしは心痛んだ。
星をうたう心で
生きとし生けるものを
いとおしまねば
そしてわたしに
与えられた道を
歩みゆかねば。
今宵も星が風に
吹き晒らされる
(伊吹郷訳)

尹東柱(ユンドンジュ 1917~1945)は、1942年4月、平沼東柱という日本名で東京の立教大学で約半年間学び日本の植民地政策による弾圧の中、平和への願いを込めて数々の詩をハングルで書き続けました。

その後、同志社大学に編入した翌年、治安維持法違反の疑いで逮捕、福岡刑務所に収監され、祖国が解放される半年前の1945年2月16日未明、27歳という若さで獄死しました。

没後70年の歳月が流れましたが、今もその清冽な詩と生涯が多くの人の心をとらえ続けています。尹東柱が学んだ立教大学のチャペルで詩人を偲ぶひと時を、皆様とともに過ごしたいと願っています。

2015年2月22日(日)午後2時~4時半(予定)
於：立教大学 諸聖徒礼拝堂

プログラム

第1部 礼拝と詩の朗読 (韓国語・日本語)

第2部 講演会

윤동주 시인이 꿈꾼 세상

「詩人尹東柱が夢見た世界」

—尹東柱が願った世の姿を詩と散文を通して探る—

[講師] 宋友恵 (ソン・ウヘ)

作家・歴史研究家 「尹東柱評伝」著者

[資料代] 一般 ¥1,000 学生 ¥500 (申し込み不要)



豊島区西池袋 3-34-1(JR 池袋駅徒歩7分)

[主催] 詩人尹東柱を記念する立教の会

[後援] 立教大学チャプレン室

[協力] 同志社コリア同窓会・尹東柱を偲ぶ会

福岡・尹東柱の詩を読む会/尹東柱の故郷をたずねる会

同時開催 尹東柱遺稿・遺品巡回展示会
“詩人尹東柱 27年の生涯”
裏面をご覧ください

※問合せ先 楊原(やなぎはら) pyol-1917@ezweb.ne.jp